

こどもの予防接種

予防接種は、感染症などの病気に対し免疫を作って予防するためのものです。予防接種の効果と副反応を十分理解し、体調の良いときに受けましょう。また、以下の内容が今後変更となった場合は、広報小田原、市ホームページ等でお知らせします。

- 予診票は取扱医療機関にあります。**
- 出生後の訪問時にお渡しする冊子「予防接種と子どもの健康」を必ず読んで、体調が良いときに受けましょう。**
- 予防接種は、以下の対象年齢内であれば、10～11ページ記載の取扱医療機関で、市の費用負担（無料）で接種できます。**
取扱医療機関にあらかじめお問い合わせのうえ、**母子健康手帳を忘れずにお持ちください。**
- 里帰り出産などにより取扱医療機関での予防接種が難しい場合は、事前申請により市外の医療機関で接種することができます。**
- 転出日以降（転出日を含む）は本市の取扱医療機関で定期予防接種の接種は基本的にできません。**

～**予防接種の計画を立てましょう**～ 期間中はいつでも接種できますが、それぞれの予防接種の目的から標準的な接種の年齢を■を目安として示してあります。

■：標準的な接種年齢 □と■：法律で定められている対象年齢

| ワクチン名 | | 年齢 | 接種回数等 |
|---------------------------------|----------------------------|---|---|
| | | 出生時 2か月 3か月 4か月 5か月 6か月 8か月 1歳 2歳 3歳 4歳 5歳 6歳 7歳 8か月 9歳 10歳 11歳 12歳 13歳 14歳 15歳 16歳 17歳 18歳 19歳 20歳 | |
| B型肝炎 | | 生後から 1歳未満 ■ ① ② ■ ③ | 3回接種 (1回目から27日以上あけて2回目、 更に1回目から139日以上あけて3回目を接種) |
| 感染症 | ロタリックス (1価) | 生後6週0日後 24週0日後 ■ ① ② | 2回接種 3回接種 |
| | ロタテック (5価) | 生後6週0日後 32週0日後 ■ ① ② ③ | |
| BCG (結核予防) | | 生後から 1歳未満 ■ ① | 1回接種 |
| 小児の肺炎球菌 | | 生後2か月から 5歳未満 ■ ① ② ③ ■ ④ | 標準的接種(生後2か月～7か月未満に接種開始)の場合 次のとおり4回接種 (初回接種①②③:生後12か月までに27日以上 の間隔を置いて3回接種 追加接種④:初回の3回目終了後60日以上あけて 生後12～15か月未満で1回接種) |
| 五種混合 (ジフテリア・百日咳・破傷風 不活化ポリオ・Hib) | | 生後2か月から 7歳6か月未満 ■ ① ② ③ ■ ④ | 4回接種 (初回接種①②③:20日～56日間隔で3回接種 追加接種④:初回の3回目終了後6～18か月 までの間隔をあけて1回接種) |
| 麻しん・風しん (はしか) | | 1歳から2歳未満 小学校入学前の1年間 [1期] ■ ① [2期] ■ ② | 各期1回接種 |
| 水痘 (みずぼうそう) | | 1歳から 3歳未満 ■ ① ② | 2回接種 【標準的な間隔】 (生後12か月～15か月未満で1回接種し、 6～12か月までの間隔をあけて1回接種) |
| 日本脳炎 | 定期接種 | 生後6か月から 7歳6か月未満 9歳以上 13歳未満 [1期] ■ ① ② ③ [2期] ■ ④ | 4回接種 【標準的な間隔】 (1期初回①②:6日～28日間隔で2回接種 1期追加③:1期初回の2回目接種後、 おおむね1年において1回接種 2期④:9歳以上13歳未満で1回接種) |
| | 特例対象者 | 平成18年4月2日～平成19年4月1日生まれの方は 20歳未満までの間、4回接種のうち、不足回数を無料で接種できます。 | |
| 二種混合 (ジフテリア・破傷風) | | 11歳以上 13歳未満 ■ ① | 1回接種 |
| HPV | 平成22年4月2日～平成27年4月1日 生まれの女子 | 小学6年生から 高校1年生相当まで ■ ① ② ③ | 【標準的な間隔】 初回接種 15歳未満:初回から6か月後に1回の計2回 初回接種 15歳以上:初回から2か月後に1回、 初回から6か月後に1回の計3回 |

注：対象年齢の解釈 「～未満」は、「～の誕生日の前日まで」 例：「5歳未満」は「5歳の誕生日の前日まで」

ほかの予防接種との間隔のあけ方

- 十分な効果を得るために、注射生ワクチンを受けるときは、27日以上間隔をあけてください。
- 同じ種類のワクチンの接種を複数回受ける際は、ワクチンごとに決められた間隔を守ってください。

